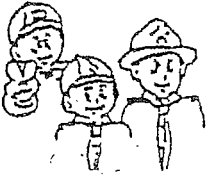


平成22年8月22日

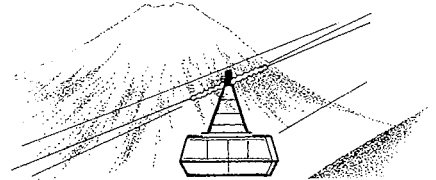
# 座間第3団

# 伝言板 さつき NO. 12



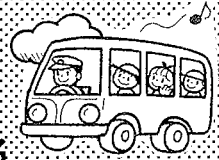
発行者:ボーイスカウト座間第3団育成会  
座間市西栗原 1-11-12 TEL251-2370

小さな胸に色々な体験  
沢山の夏の思い出を刻み込み



## ビーバー隊・カブ隊のキャンプ無事終了

期間	平成22年7月30日～8月1日
場所	湖畔キャンプ場(富士五湖の一つ西湖の畔)
参加者	ビーバー隊 スカウト・リーダー・育成会員 36名 カブ 隊 スカウト・リーダー・育成会員 38名 合計 74名



根塚団委員長さんは全行程参加頂きました。皆様誠にご苦労様でした。  
座間を出発する時は雨でしたが、途中から天気も回復して、キャンプ期間中は天候に恵まれました。

7月30日

キャンプ場には渋滞もなく予定通り到着し、開村式も無事に終わり各隊とも予定の行事を終了しました。参加頂いたお父さんお母さん方には夜の行事に使用するキャンドル作りをお手伝い頂きました。

7月31日

ビーバー隊は富士山5合目付近のハイキングを予定致しましたが、駐車場が混雑の為2時間待ちなのでハイキングは中止しキャンプ場に戻りました。午後は予定通り水遊び、西瓜割りを楽しみました。

カブ隊は西湖の近くにある紅葉台にハイキングに行きました。暑い中スカウトの皆さん良く頑張りました。ベースキャンプに戻ってからは西湖で水遊び、またビーバー隊と一緒に西瓜割りを楽しみました。

夜はキャンプで一番の呼び物、キャンプファイヤーです。スカウトもそして大人達も童心に戻り、ファイヤーを囲み楽しい一つの輪になりました。この輪はさらに大きな輪となることを確信致します。

8月1日

早いもので今日は帰りの日です。おおむね計画通りに行事が進行したことを感謝しつつ荷物の整理にかかりました。帰り道は渋滞とスカウトの車酔いにて予定より2時間遅れましたが、午後6時頃座間市役所に無事到着致しました。関係各位の皆様大変お世話に相成り誠にありがとうございました。



開村式

# キャンプに参加して



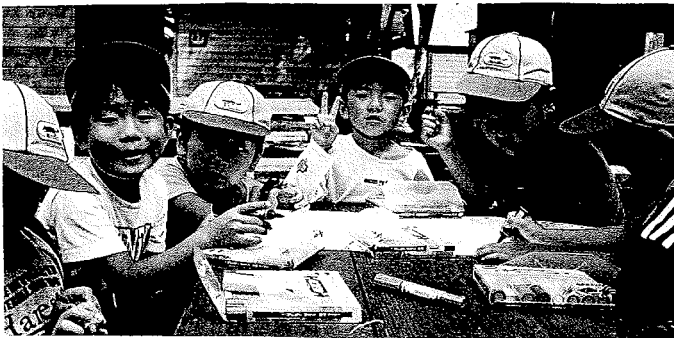
## ビーバー隊

田原 安紀

今年は2回目の参加でしたので、キャンプ当日が近づくにつれて楽しみは増すばかりでした。

昨年と違い1日目からの参加なので、バス移動だったり、ロッジでの宿泊も子ども達とは別部屋だったり、団体行動の中でのすれ違いが面白かった。

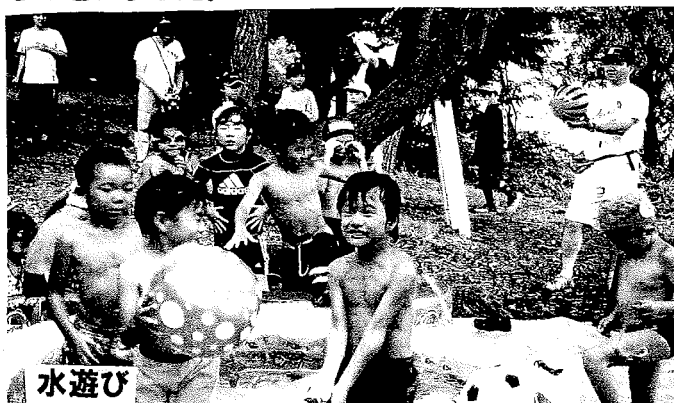
最後に今年は食事の準備や片付けにも参加でき、キャンプらしさを満喫できました。



大迫 規子

初めてのキャンプは、初日は娘一人で参加でしたが、2日目に私が合流した時には、特にホームシックにかかっている様子もなく、笑顔を見せてくれました。周囲の皆さんの励ましや、友達の存在に支えられたおかげだと感じています。

私も(たぶん娘も)少し不安な気持ちで参加したキャンプでしたが、日常とは違う生活を皆さんと過ごしたことで、親近感が沸き、楽しい思い出となりました。娘がこのキャンプを通して、さらに頼もしく成長してくれたことを嬉しく思います。ありがとうございました。



水遊び

向井

今年で2回目の、ビーバーキャンプ参加になります。去年に比べて各々子どもがスカウトとして成長してきた姿が見られ嬉しく思います。弓矢作りや水・火遊び、キャンプファイヤー等様々な催しで親子共々楽しませて頂きました。ありがとうございました。



弓矢遊び

## カブ隊



廣瀬 千絵

今回初めて参加させて頂きました。

二日目のみの参加でしたので、少ししかお手伝いできませんでしたが、夕食の準備やキャンプファイヤーなど楽しく充実した時間を過ごすことができました。特にキャンプファイヤーでのスタンプは、こっそりそして少し必死にダンスを練習しました。出来はどうだったか分かりませんが、子ども達も楽しんで見てくれたようなので、良かったです。

キャンプファイヤーの火を囲み、みんなで歌ったり踊ったりも楽しかったです。ただ、キャンプの歌をあまり知らなかったのが残念でした。来年までには子供に教えてもらって参加したいと思います。ありがとうございました。

家に辿り着いても再度気分を悪くした夏樹は、門の所でしゃがみこみ涼んでいました。そして、思いがけずに頂いた隊長賞の事を、弱々しくも嬉しそうに話し始めました。隊長をはじめリーダー達に自分の活動を見てもらったことが一番良かったのだと思います。

カブ隊での組の活動は、また一つスカウトらしさを見せてくれました。ビーバーの時は、集合・荷物整理・着替えなど何かと目に付いては声を掛けていました。が、声掛けもほとんど無く、自分で出来る事も多くなり、組活動にも何とか着いて行けた所が成長した点でしょうか？。ぜひ家での生活にフィードバックしてもらいたいものです。

今回、毎年夏季キャンプという活動プログラムがスカウト達の成長のバロメーターになっていると、参加されたお父さんお母さん達の会話で感じました。それが自分の子供だけでなく、自然と他の子ども達の成長まで一緒に感じられるのが親の参加する醍醐味だと思います。それと、始めは子供の所属する隊のリーダーや親達とのつながりだったのが、数回参加する事で、カブ・ビーバーの隔たりも無くなり、つながりが広がっていきます（スタントのおかげでしょうか？）。それがまたスカウト達全体を包んでいる様な雰囲気になっている座間三団の今の良さ、スカウト数が増えている強さのヒミツなのかもしれませんね。

次回のキャンプを楽しみにしています。

P.S.=お父さんのスタント良い仕事ことができました。



今年で夏期キャンプは二回目で、カブ隊として初参加となり、親子とも楽しみにしていました。

夜のゲーム、ハイキング、水遊び、キャンプファイヤー、クラフト等とても充実した内容でした。

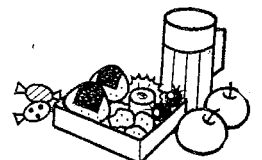
（事前の準備ご苦労様でした）

中でも二日目のハイキングは、子供にとって忘れる事の無い経験になったようです。出発して30分も経たない内に先頭集団より段々と間が開き、山登りではハバザックと不慣れな道、そして暑さでほとんどギブアップのようでした。皆さんの応援やずっと隣に居てくれた夏樹くん、是永DLのおかげで完走出来たと思います。

子供の感想、『大変だった・・・』今回のキャンプの経験を忘れずに、次回は『楽しかった』と言って貰えれば嬉しいです。

また、キャンプファイヤーでのお父さんの組体操（スタント）決まりましたね！

最後にスカウトの皆さん・団委員長・隊長・副長・DL・保護者の皆様にご世話になりました。



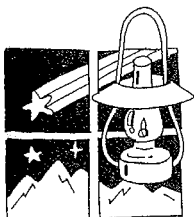
## ビーバー・カブ隊

熊見 優子

今年で3回目のキャンプに、参加させて頂きました。毎年キャンプで行われる内容に感謝しております。子ども達がメインに考えられているとは思いますが、私も一緒になって、子ども達以上に楽しませて頂いています。初めてのキャンプの時に比べ、体力・知力共に子ども達の成長を近くで感じる事が出来、嬉しく思います。11kmのハイキング（私は参加していませんが・・・）は体力の無い祐希にとって自信につながっていると思います。家族では中々やらせる事が出来ませんし、親に頼らずに最後までやりとげるとい事が本当に感謝です。

今年ビーバー隊に入隊した柚希は、2日目に熱を出したりとご迷惑をお掛けしましたが、各リーダーの方々、保護者の皆様にご協力頂いて本当にありがとうございました。

また、来年もよろしくお願ひします。



育成会員

熊見 高德

今回で2回目の参加になります。子供がそれぞれビーバー隊・カブ隊となり、初キャンプから二年が過ぎ、家での夏の一大行事となっております。

娘にいたっては今回初めてスカウトとして参加するということもあり、歌や踊りを家で練習していたととても楽しみにしていたようです。二年間兄のビーバー隊の活動を見ていて、娘自身が今回スカウトとして活動できることが嬉しかったと思います。

家族一緒に参加して子ども達を見ていると、スカウトと一緒に行動をし、物を作成したりして、とても楽しそうな表情をしていました。自分一人ではなかなかできない事や、難しい事を他のスカウト達と行動をする事により、パワーをもらっていた様に感じました。

また、個人としても他のお父様と一体になり、なかなか仕事場では子供の話をする機会も無い中で、子供についての話題や姿勢を見て刺激を受け、私も沢山のパワーを頂き、大変有意義な三日間となりました。

子ども達だけでなく、家族全員で沢山のひとと接し成長できるキャンプだと、前回同様今回も改めて感じました。